

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(水道)漏水調査事業	会計名称	水道特別		担当課	水道課	
		予算科目	1 款 1 項 2 目	事業番号	9904	所属長名	野島 康博
事業評価の有無	☒ 評価対象事業 ☐ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	水野 知	
法令根拠等	水道法				実施期間	【開始】	平成 0 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造					【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし
	潤いのある水環境づくり						
総合計画における本事業の役割	潤いのある水環境づくりに関しては上水道区域内の公道下に埋設している配水管及び給水管を踏査し、発生している漏水音を発見することで漏水箇所を特定し、修繕することで有収率の向上につながる。						
事業の対象	市民（上水道加入者）		事業の目的	上水道区域内の配水管及び給水管に発生している地下漏水を発見し、早期に修繕することで無効水量を抑制し、有収率の向上を図ると共に水資源の損失を最小限に抑える。			
事業の内容（整備内容）	上水道区域内の公道下に埋設している配水管及び給水管を踏査し、発生している漏水音を発見することで漏水箇所を特定する。また、調査対象地区内の各戸の止水栓及び量水器からの漏水を発見する。		昨年度の課題に対する具体的な改善策	漏水調査の結果を集約し、漏水が多発する路線を把握し、老朽管更新工事を適切に行っていくことにより、有収率の向上に努める。			

事業活動の内容・成果 (D0)

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27年度実績	28年度予定	9月末の実績	28年度実績
財源内訳	直接事業費	10,433	11,386	0	0	0	10,584	漏水調査業務	一式	10756	11386	3170	10584
	国庫支出金		0	0	0	0	0						
	県支出金		0	0	0	0	0						
	地方債		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0						
一般財源		10,433	11,386	0	0	0	10,584						
職員の人工（にんく）数		0.13	0.13				0.00						
1人工当たりの人件費単価		8,042	8,086				8,086						
※ 直接事業費÷人件費		11,478	12,437				10,584						
主な実施主体		業務委託		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）									
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	5年間の合計		
						10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000		
成果指標	指標	有収率＝年間有収水量/年間総配水量×100				単位	区分年度	27年度	28年度	29年度	目標	毎年度	
						%		93	94	93			
	指標設定の考え方	有収率は、配水量に対し、料金として回収される水量（有収水量）がどれ位あるかを示すものである。有収率が低いということは漏水が多いという指標となる。よって、漏水の改善が進んだことにより有収率の向上につながる。				⇒	目標	93	94	93			
							実績	91.5	90.7				
	指標で表せない効果												

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況（今年度の途中経過）		漏水箇所の早期発見、早期修繕に努めている。													
事業評価	自己判定（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 概ね、施策の目的に沿った事業である。 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	合計点が	14～15：S 10～13：A 8～9：B 5～7：C 3～4：D	S	事業成果・工夫した点	漏水調査を実施することで漏水箇所を発見し、早期に修繕することができている。早期に修繕することにより不明水量の減少に効果を挙げていると考えられる。特に漏水が発生すると不明水が多くなる配水施設からの漏水調査の成果を集約し漏水が多発する路線を把握し、漏水管更新事業と並行し事業を行うことによりいっそう水資源の損失を抑え有収率の向上につながると考える。				
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4										
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5										
			事業の効果	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5										
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4										
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4										
		効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4	合計点が	14～15：S 10～13：A 8～9：B 5～7：C 3～4：D	A	事業の苦労した点・課題	毎年、永久に必要な調査であるので、漏水調査できる技術をもつ職員の育成・雇用が課題。					
			コスト効率	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4										
			市民（受益者）負担の適正	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4										
			目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5						合計点が	14～15：S 10～13：A 8～9：B 5～7：C 3～4：D	S	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する （判断の理由） 漏水調査による漏水防止により安全で安心な水道水を供給することができるため、事業継続と判断する。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4										
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5										
事業の効果	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5	合計点が	14～15：S 10～13：A 8～9：B 5～7：C 3～4：D	A	所屬長の課題認識	漏水調査業務は、漏水箇所の早期発見や場所の特定ができるため、漏水修理等の早期対応が可能となる。このため、有収率の向上や漏水による2次災害の防止、水資源の有効活用並びに経費縮減につながるために、今後も継続的な漏水調査を実施するとともに老朽管更新事業の推進につなげていきたい。								
成果向上の可能性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4													
施策への貢献度	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4													
手段の最適性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4						合計点が	14～15：S 10～13：A 8～9：B 5～7：C 3～4：D	A					
コスト効率	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4													
市民（受益者）負担の適正	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4													

施策を踏まえた判断	二次判定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☐			
		☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		☐			
		☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐			
☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。				
☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。				
☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。				

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

の経営 最終者 判断議	事業の方向性	コメント欄	
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	